

アキレス フラーレ

アキレス フラーレノンマイグレF



《アキレスフラーレ》は、各種公的機関の試験に合格した優れた防災性能をもつ軟質透明塩化ビニルフィルムです。長年にわたる幅広い実績により高い評価と信頼を得ており、用途に合わせた商品のラインアップも充実しています。

《アキレスフラーレ・ノンマイグレF》は《アキレスフラーレ》の防災性に加え、可塑剤の移行を抑制し他のプラスチック製品を傷めることの少ない製品です。《ノンマイグレF》にはマーキング用オレンジタイプもあります。



代表的性能

消防法施行令第4条の3に適合

防災2級(JIS A-1322)

酸素指数27以上(《ノンマイグレF》は25)(JIS K-7201)

MVSS No 302 難燃試験合格

アキレスフラーレ・ノンマイグレFの非移行性能

対象樹脂成型品	フラーレ 0.1mm	ノンマイグレF 0.1mm
AS	×	
メタクリル		
スチロール	×	~
ポリカーボネート	×	
ポリプロピレン		
ABS		

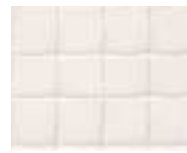
評価：成型品の表面に異常なし、表面に若干の凹凸などの異常あり
 ×表面に凹凸や亀裂が多く発生

アキレス フラーレイトイリ

《アキレスフラーレ・イトイリ》は、優れた防災性で定評のある《アキレスフラーレ》に1000デニールのポワイトポリエステル糸を2cm間隔の格子状にマネット、透明性を損なわずに引張・引裂強度を格段に高めました。



一般タイプ



防災タイプ

《イトイリ》タイプには防災性のない一般タイプもあります。

《難燃性=自己消火性》

塩化ビニルの防災性とは単に燃えにくいということではなく、万一火がついた際もメラメラと燃え広がることなく、延焼を最小限に食い止める自己消火性のことをいいます。

アキレスフラーレと一般塩化ビニルフィルムの燃焼比較試験を行ったところ、接炎後15～20秒で一般塩化ビニルフィルムは燃えているのに、フラーレはまだ燃えていません。接炎後2分を経過してからも、一般塩化ビニルフィルムは大きな炎をあげて燃え広がっているのに対し、フラーレは小さな炎が出ているにすぎません。火元を取り除くと延焼せず自然に鎮火しました。ここにアキレスフラーレの防災性と自己消火性が実証されました。

但し、自己消火性とは火元がなくなったときに自ら鎮火するという意味であり、火の中では燃えますのでご注意ください。

燃焼テスト(JIS A 1322・1966/45°メッセルバーナー試験)

アキレスフラーレ



接炎15～20秒



接炎2分以上

一般フィルム



接炎15～20秒



接炎2分以上

在庫規格

項目	フラーレ				フラーレノンマイグレF	フラーレイトイリ	イトイリ一般
	透明	透明	透明	透明	透明 / オレンジ	透明	透明
色	透明	透明	透明	透明	透明 / オレンジ	透明	透明
厚さ[mm]	0.15	0.3	0.5	1.0	0.1	# 3000	# 3000
幅[cm]	183	183 / 137	183	91.5 / 137	185	185	185
巻数[m]	50	30	30	10	50	50	50
防災性登録番号	AT890014	AT900080	AT880009	AT880041	AT880020	AT960018	